

# 白岡市

## 公共施設等マネジメント計画(白書)



### 概要版

平成27年2月

白岡市

-目次-

公共施設等マネジメント計画(白書)とは	1
市の公共施設等の概況	2
公共施設を取り巻く課題	4
公共施設等に関する市民意識の現状(市民アンケート結果)	6
公共施設マネジメント基本方針	8

# 公共施設等マネジメント計画(白書)とは

「公共施設マネジメント」とは、公共施設を対象として、経営的な視点から設備投資や管理運営に要する費用の最小化、施設効用の最大化を図るため、総合的・長期的視点から企画・管理・活用する仕組みです。この白書は、マネジメントを進めるため、現在ある公共施設の状況や将来の費用負担等の予測を調べたものです。

## ◇白書作成の背景と目的及び対象施設

### 【背景】

白岡市では、高度経済成長期以降の人口増加等を背景に、様々なニーズに対応すべく各種公共施設や道路等のインフラ施設の整備を進めてきました。

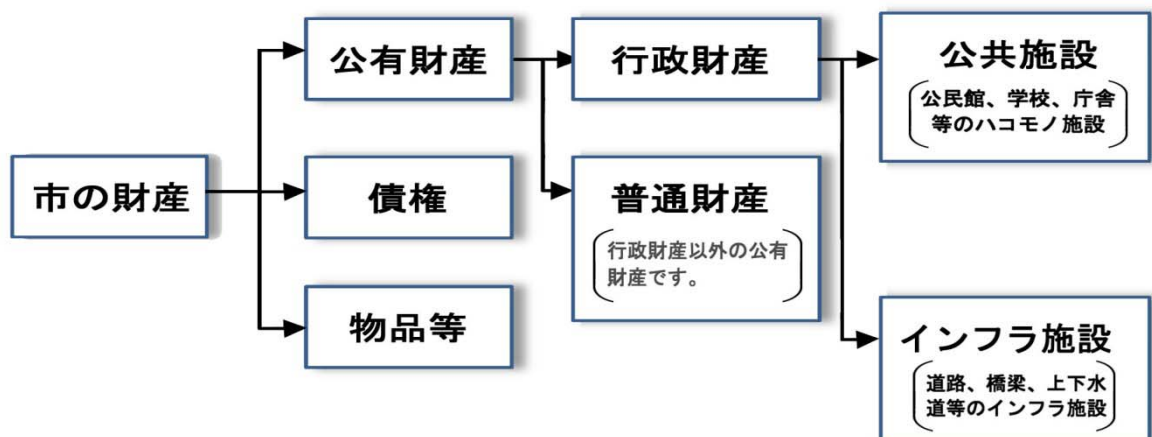
それらの公共施設や道路等のインフラ施設の多くが老朽化を迎えており、今後、建て替えや大規模改修等を行っていかなくてはなりません。しかし、少子高齢化、市税等の自主財源の減少など、厳しい財政状況が予測されるため、その費用が財政運営の大きな負担となることが予想されます。

### 【目的】

現状の公共施設やインフラ施設の全体像を統一的に把握し、利用状況やコスト情報などを可視化することで、今後の公共施設のあり方を考えるための基礎資料とすることを目的としています。また、将来に向けた課題や整備・管理運営の方向性についてをとりまとめ、今後、総合的かつ計画的に管理する「公共施設等総合管理計画」の策定のための基本方針とします。

### 【対象施設】

市の所有、管理する財産のうち、「行政財産」を対象としています。本白書では、公共施設(公民館、学校、庁舎等)のほか、道路等のインフラ施設(道路、橋梁、上下水道等)についても対象としています。



# 市の公共施設等の概況

市の公共施設及びインフラ施設の概況は、以下のとおりです。

## ◇公共施設の概況

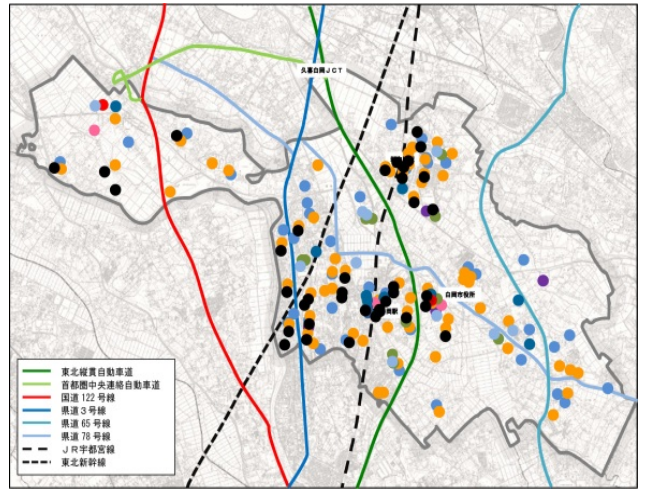
市が保有する施設は 188 施設あり、その内訳を延床面積で見ると、学校施設が 61%と最も多く、次いで庁舎が 10%、集会施設が 6%となっています。(総延床面積 101,272 m<sup>2</sup>)

また建築年別に見ると、人口増加が急速に進んだ昭和 40 年代～60 年代にかけ、学校教育系施設を中心として建設されたものが多く占めていることが分かります。

市の各公共施設数と設置位置

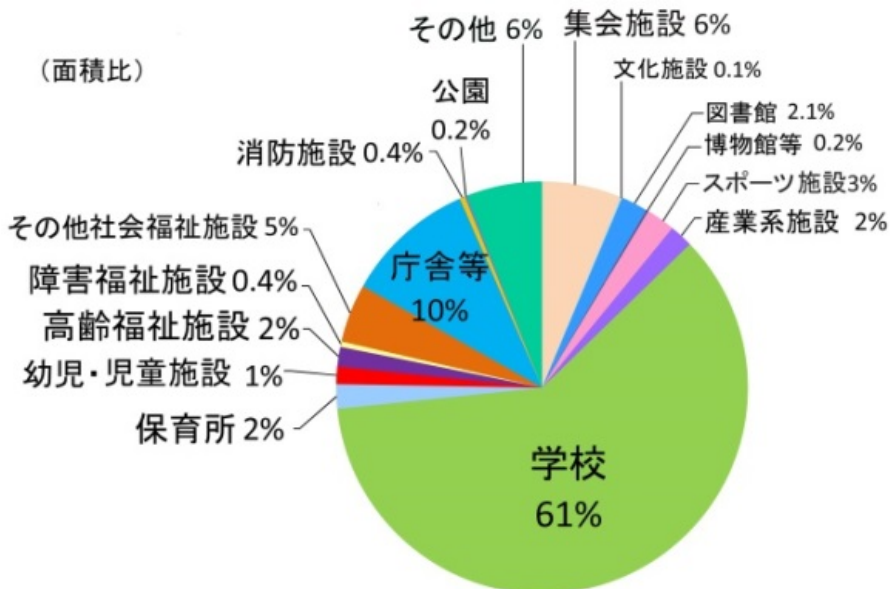
No.	施設分類	施設数
1	<b>市民文化系施設</b>	36
1	集会施設(コミュニティセンター等)	36
2	<b>社会教育系施設</b>	3
1	資料館	1
2	社会教育施設	1
3	学習施設(公民館/生涯学習センター)	1
3	<b>保健福祉系施設</b>	5
1	高齢者福祉施設	2
2	障害者支援施設	2
3	保健福祉施設	1
4	<b>スポーツ・レクリエーション系施設</b>	67
1	スポーツ施設	2
2	運動公園等(建物を伴う公園内施設)	33(1)
3	グラウンド	1
4	児童遊園	30
5	<b>産業系施設</b>	3
1	物産センター等	3

No.	施設分類	施設数
6	<b>子育て支援施設</b>	11
1	保育所	3
2	学童保育所等	8
7	<b>学校教育系施設</b>	10
1	小学校	6
2	中学校	4
8	<b>行政系施設</b>	12
1	庁舎等	5
2	消防施設	7
9	<b>その他施設</b>	41
1	車庫	4
2	公衆便所	21
3	ポンプ室	8
4	駐輪場	2
5	駅施設	6



- 市民文化系施設
- 社会教育系施設
- 保健福祉系施設
- スポーツ・レクリエーション系施設
- 産業系施設
- 子育て支援施設
- 学校教育系施設
- 行政系施設
- その他施設

市が所有する建物内訳(延床面積比)

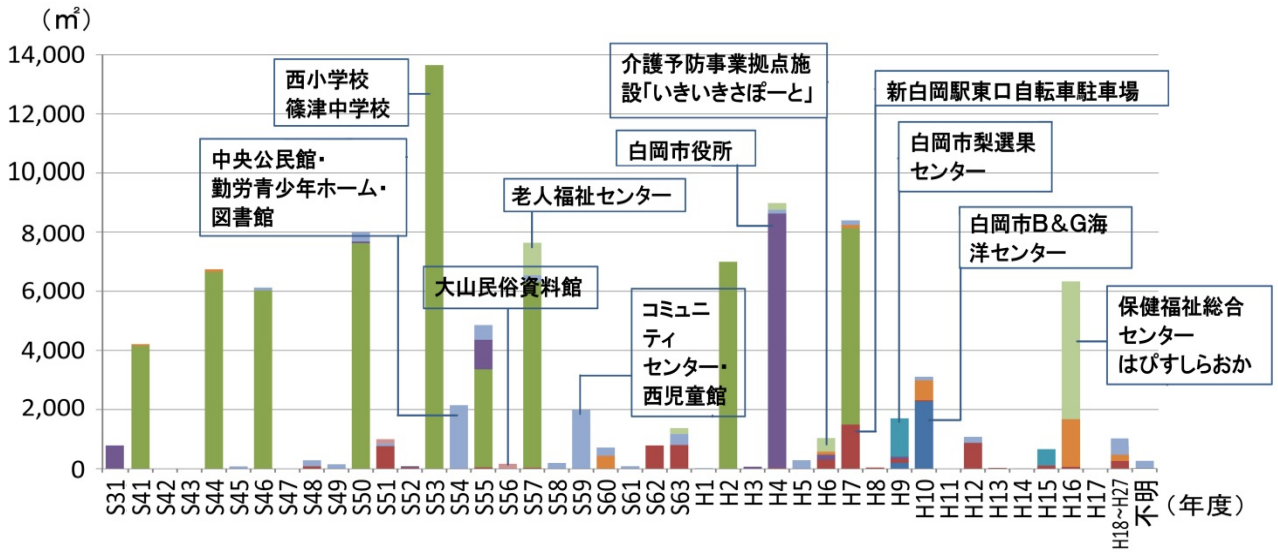


集会施設	6,296.7
文化施設	139.7
図書館	2,149.3
博物館等	167.3
スポーツ施設	2,296.6
産業系施設	1,869.9
学校	61,374.0
保育所	1,932.3
幼児・児童施設	1,388.4
高齢福祉施設	1,556.6
障害福祉施設	426.1
その他社会福祉施設	4,656.6
庁舎等	10,401.1
消防施設	405.9
公園	206.7
その他	6,005.1

(単位: m<sup>2</sup>)

## 公共施設の建築年別床面積一覧

■ 市民文化系施設    ■ 保健福祉系施設    ■ 産業系施設    ■ 学校教育系施設    ■ その他施設  
■ 社会教育系施設    ■ スポーツ・レクリエーション系施設    ■ 子育て支援施設    ■ 行政系施設



## ◇インフラ施設の概況

### 【道路】

市が管理する道路は、1級、2級、その他市道などを含め、その延長は410.440kmとなります。また、車道の舗装面積は2,208,373㎡となります。

施設項目	種別	路線数	延長	面積	備考
道路	車道	一級市道	26	33.421km	324,351㎡
		二級市道	34	26.570km	203,124㎡
		その他市道	2,555	350.449km	1,680,898㎡
		合計	2,615	410.440km	2,208,373㎡
	歩道舗装	—	45.273km	120,739㎡	

### 【上下水道】

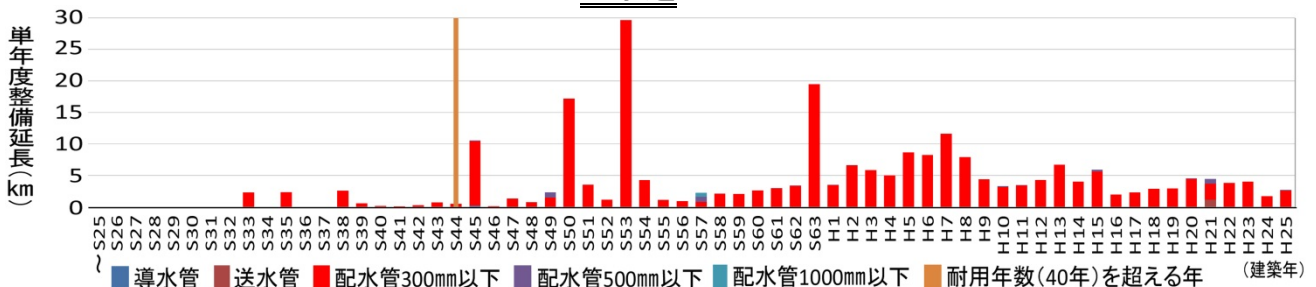
上水道は、昭和45年から整備が本格化し、昭和45～63年に集中的に整備してきました。今後も上水道の整備は続きます。

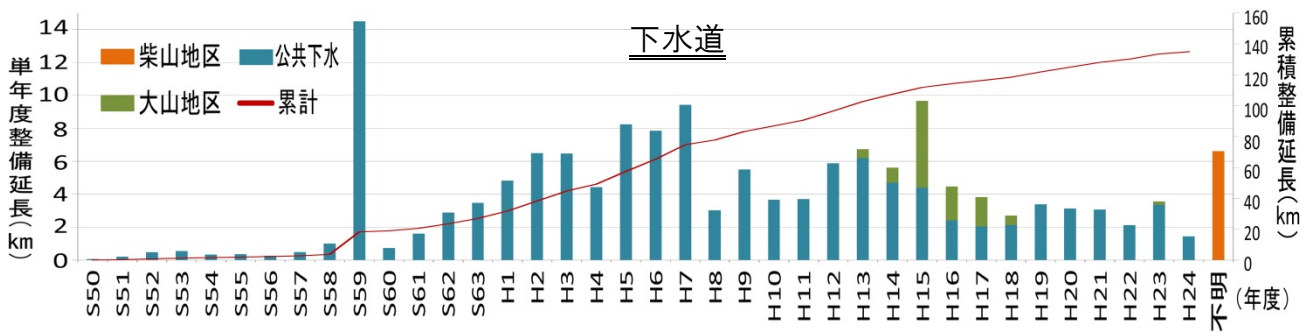
下水道は、昭和59年に白岡第2処理分区において単年度に13kmを整備して以来、下水道整備が本格化し、平成7年まで急速に整備してきました。今後も下水道の整備は続きます。

施設項目	種別	延長	備考
上水道	導水管	7.035km	
	送水管	2.244km	
	配水管	219.979km	
	合計	229.258km	

施設項目	流域	延長	備考
下水道	白岡第1処理分区	100.061km	公共下水
	白岡第2処理分区	34.902km	公共下水
	柴山地区	6.613km	農業集落排水
	大山地区	11.336km	農業集落排水
	合計	152.912km	

### 上水道

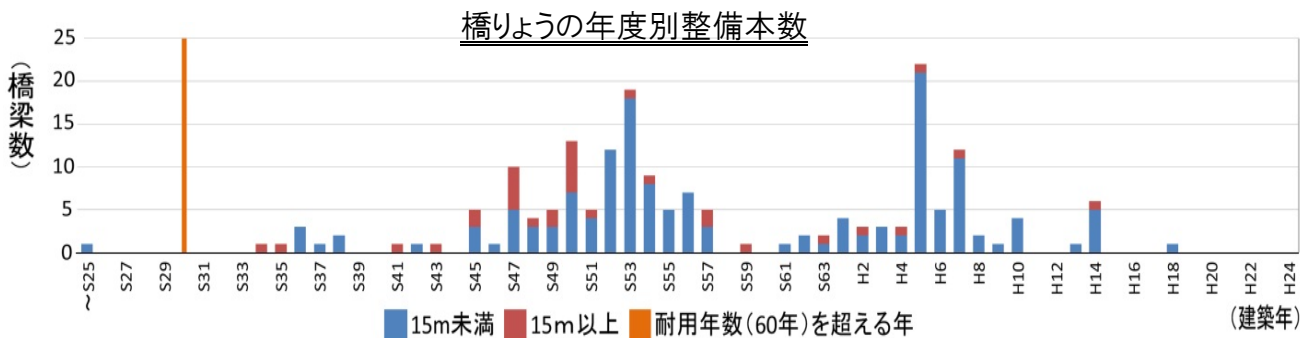




### [橋りょう・立体横断施設]

橋りょうは、昭和 40 年代後半から昭和 50 年代前半にかけて、集中的に整備しています。耐用年数を 60 年とすると、耐用年数を越えた橋りょうは現時点では1橋ですが、今から 20 年後の平成 46 年には更新のピークを迎えることが予想されます。

施設項目	種別	橋梁数、施設数	面積	備考
橋梁	車道橋	198橋	11,776m <sup>2</sup>	
	歩道橋	1橋	76.0m <sup>2</sup>	
立体横断施設	自由通路	2施設	767.0m <sup>2</sup>	白岡駅、新白岡駅
	エレベーター	3施設	91.2m <sup>2</sup>	
	エスカレーター	2施設	80m <sup>2</sup>	



## 公共施設を取り巻く課題

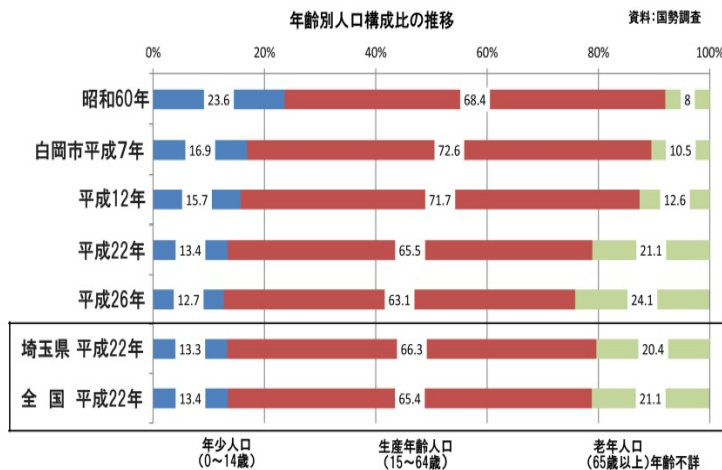
公共施設を取り巻く課題には、3点あります。

### ◇少子高齢化社会の到来

市の人口は H26 で、51,671 人で、ここ数年間増加し H17 ~H26 年には約 2.6%の増加となっていますが、1世帯当たりの人数は H17 の 3.0 人から、H26 の 2.6 人へと減少してきています。また、夫婦のみの世帯やひとり暮らし世帯の割合が増加しています。

年齢別人口をみると、全国平均に比べ緩やかですが、14 歳以下の割合が減少し 65 歳以上の割合が増加し、確実に少子高齢化が進んでいます。

今後、本市の人口動態と整合した行政サービスが求められます。



一般世帯の構成 単位: %

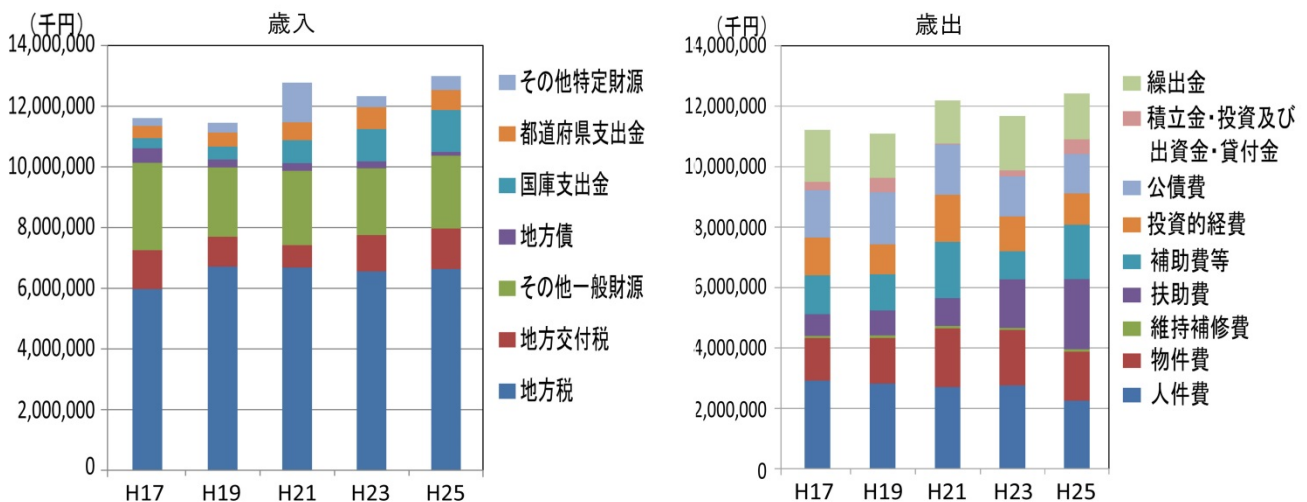
区 分	白岡市			埼玉県
	平成12年	平成17年	平成22年	平成22年
核家族世帯	71.0	71.3	70.0	64.6
夫婦のみ	17.8	20.7	22.0	16.1
夫婦と子ども	46.5	42.8	39.7	48.5
ひとり親と子ども	6.8	7.8	8.3	6.8
父親と子ども	1.3	1.4	1.5	2.2
母親と子ども	5.5	6.4	6.8	4.6
三世同居	15.5	13.3	17.4	10.4
ひとり暮らし	13.2	14.9	18.0	13.5
その他	0.2	0.5	0.8	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

注: 一般世帯とは、病院、寮などの施設を除いた世帯。資料: 国勢調査  
\* 表中の割合は、少数第2位を四捨五入しています。

## ◇自主財源の現状

市の普通会計における歳入の総額は、この10年では、120億円前後で推移していますが、自主財源である市税収入は66億円前後となっています。市税収入の全体に占める割合は50%前後です。今後、少子高齢化などの影響も考慮すると、市税収入の大幅な伸びは期待できません。

歳出額は、120億円前後で推移しています。歳出の47.2%(平成25年度)は、人件費、扶助費、公債費といった市が任意に減少させることが困難な義務的経費で占められています。



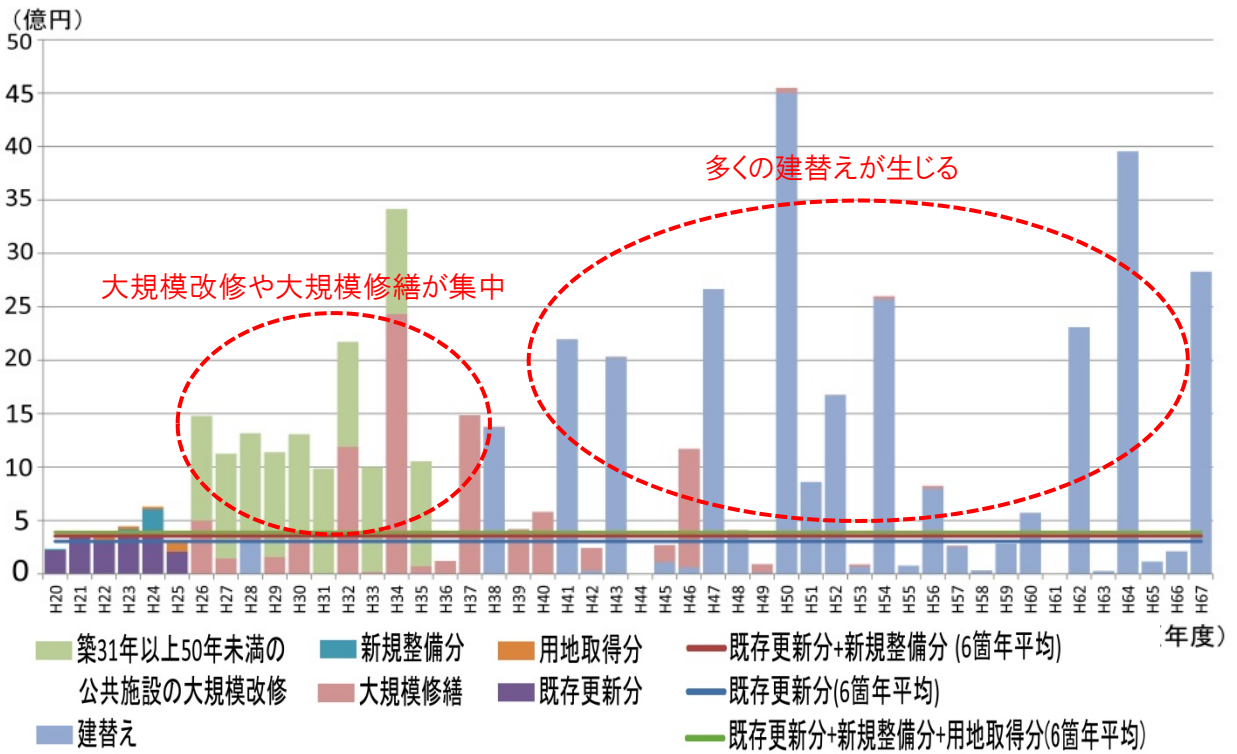
## ◇建替えや大規模修繕の増大

過去の一時期に集中して建設した施設が一斉に老朽化し更新時期を迎えます。

試算によると、今後40年間の更新費用は年間12.3億円となります。過去6年間(H20~25年度)の公共施設の投資的経費(\*)は、年平均3.9億円で、現状の約3.2倍の費用がかかります。

今後、少子高齢化に伴い社会保障関係経費が増加する中、老朽化する公共施設を現在と同規模で更新し維持し続けることは、本市の財政上の大きな負担となります。

\* 投資的経費 その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費のこと。



## 公共施設等に関する市民意識の現状(市民アンケート結果)

公共施設等に対する市民意識は、以下の通りです。

### [アンケート方法]

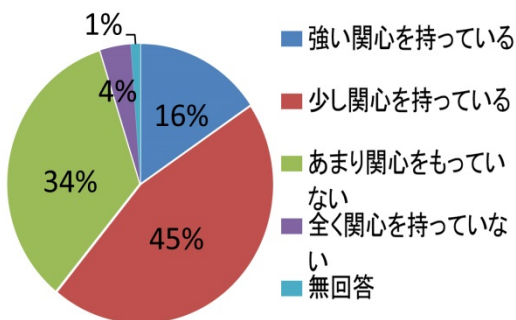
対象: 1,000名(18歳以上の市民から無作為抽出)  
 配布日: 平成26年11月6日(木)に発送  
 回収期限: 平成26年11月25日(火)中の投函  
 回答数: 356票(有効回答率 35.6%)

### [市民の関心度合いと公共施設の利用頻度]

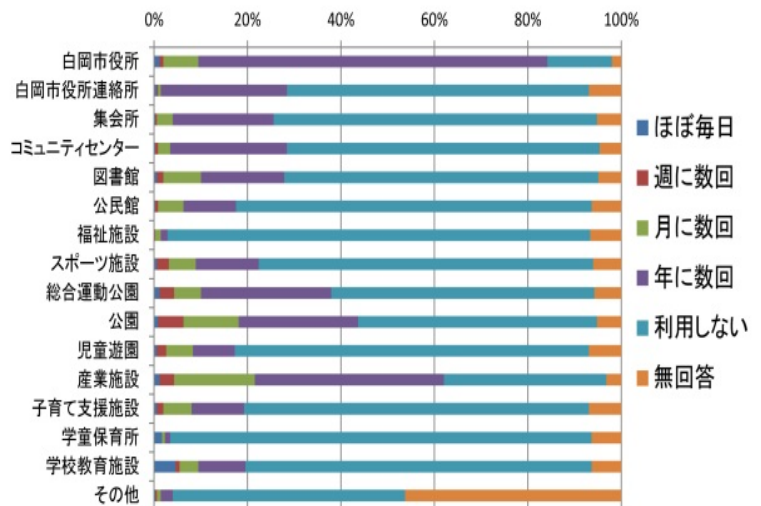
公共施設の現状や課題について、約6割の方が関心を持っていると回答しています。

公共施設の利用頻度について、「市役所」は年に数回程度の利用があるものの、その他の公共施設については、「利用しない」の回答が最も多く、年数回の利用にとどまっていることが分かります。

#### 問10.あなたは、市の公共施設の現状や課題について関心をお持ちですか？

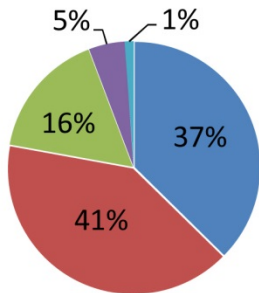


#### 公共施設の利用頻度

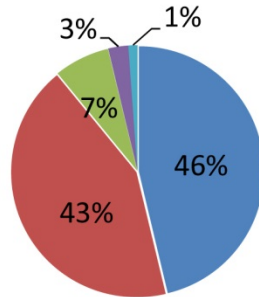


## [公共施設の整備や管理運営に関する市民意識]

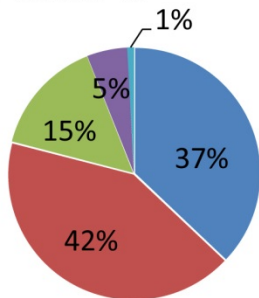
問11-1.現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす。



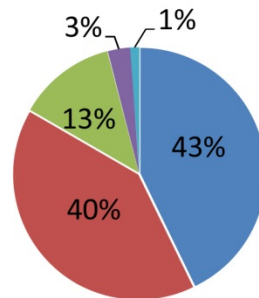
問11-2.施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。



問11-4.建て替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する。



問11-5.施設の一部や土地の売却・貸付によって収入を得る。



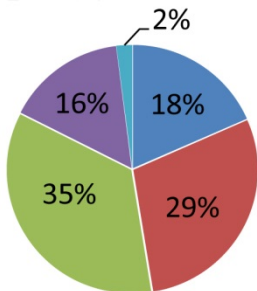
施設の統廃合や機能の複合化・共有化、更新・維持管理に民間資金やノウハウの活用、施設の一部や土地の売却・貸付による収入については、大半の市民が肯定的です。

また、建て替え等ではなく、現在の施設を丁寧に使い、できるだけ長い期間使用したいとの意見もあります。一方、地域住民による公共施設の管理運営やコスト削減のためのサービス水準の引き下げなどについては、意見が二分しています。

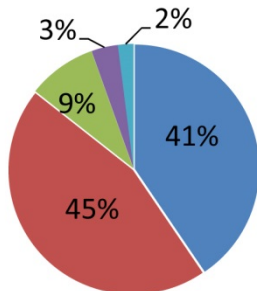
- 実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきではない
- 実施すべきではない
- 無回答

## [インフラ施設の管理運営に関する市民意識]

問12-1.現在ある公園などを集約することによって、施設数を減らす。



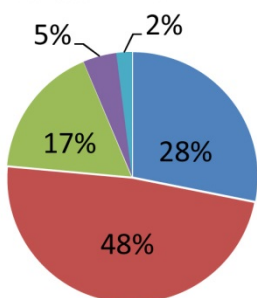
問12-2.道路、下水道などの更新や管理に、民間のノウハウや資金を活用する。



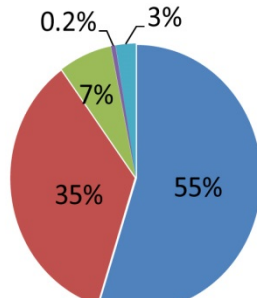
インフラ施設についても公共施設と同様に、更新・維持管理に民間資金やノウハウの活用や、施設の一部の売却・貸付による副収入、現在の施設を丁寧に使いできるだけ長い期間使用したいとの意見があります。

ただし、公共施設と異なり、公園などの集約化は意見が二分しています。

問12-4.施設を補強して長持ちさせることにより、しばらくの間、更新しない。



問12-6.機能していない市の道路や水路の売却・貸付によって、収入を得る。



- 実施すべき
- どちらかといえば実施すべき
- どちらかといえば実施すべきではない
- 実施すべきではない
- 無回答



# 公共施設マネジメント基本方針

現状の財政状況では年間約 10 億円以上が不足することが分かりました。

一方、市民アンケートの結果から、公共施設の統廃合・機能の複合化・民間ノウハウの導入に前向きな市民意識が伺えます。

これらを踏まえ、施設の長寿命化だけではなく、施設の集約化により費用を抑制する必要があると考えられます。公共施設の現状と、市民ニーズを踏まえ、今後の公共施設マネジメントにおける基本方針として、下図のように設定します。

今後、この方針に基づいて、施設の統廃合・機能の複合化による歳出の削減や、施設運営のための収益確保による歳入の拡大を行い、現状に見合った公共施設及びインフラの管理・運営を進めていくことが求められます。

## ◆公共施設の現状

- ・過去の一時期に集中して建設した施設が一斉に老朽化
  - ・大規模改修・更新需要の集中
  - ・年間 10 億円以上の予算が不足
- 年間 10 億円以上の予算確保が課題

## ◆市民ニーズ（市民アンケート結果に基づく）

- ・施設の利用頻度の低迷
- ・施設の集約化による管理費削減に前向き
- ・民間資金・ノウハウの導入によるコスト削減
- ・余剰施設の利活用による財政健全化

## 白岡市公共施設マネジメント基本方針

### 🚩 方針1 公共施設の実態に係る情報把握

### 🚩 方針2 本市の人口動態や財政状況、市民ニーズに応じた適切なサービスの設定

### 🚩 方針3 中長期的視点による適切な整備方法の選択

- 建物：複合化、建替え、大規模修繕、運営効率化、サービス水準の見直し、統廃合 等
- インフラ：新規整備の抑制、施設の長寿命化、サービス水準の見直し、予防保全型維持管理への転換

### 【歳出の削減】

- 機能・用途の見直し（施設内容の多機能化・複合化、用途転換など）
- 運営形態の見直し（業務マニュアル研修による効率化、運営のアウトソーシング等の民間の活力やノウハウの導入、住民・民間との協働、PFI/PPP、担い手の確保、IT化による運営効率化など）
- 保有形態見直し（民間施設借上げ方式の導入など）

### 【歳入の拡大】

- 施設運営のための収益確保
- 未利用地や空スペース、用途廃止施設の売却・賃貸による収益の確保
- 有料施設の利用者負担適正化（利用料金見直し）